

メンタルヘルス関連疾患の動向 に関するレポート

平成 26 年 3 月

IT 推進部 データ分析推進グループ

調査の概要と対象レセプトについて

本レポートは、メンタルヘルスに関連する、▽気分 [感情] 障害、▽神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害—の入院外の動向を中心に、24 年度の受診者数の推移や対前年同期比の推移を調査したものです。職場でのメンタルヘルス対策や注意喚起など、広報誌、ホームページ等でご活用頂ければ幸いです。

※なお、75 歳以上の加入者は原則、後期高齢者医療制度の適用対象者のため統計上存在しないはずですが、①診療年月日を診療月の月末として計算しており、75 歳の誕生日を迎える月に誕生日前に診療を受けた場合に年齢が 75 歳となるため 75 歳以上に計上しているほか、②外国に住所を有する 75 歳以上の加入者についても 75 歳以上に計上しています。

【対象疾患】

気分 [感情] 障害（躁うつ病を含む）	F30-F39
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F40-F48

調査対象は、平成 24 年度、平成 23 年度で同一の 601 組合の入院外レセプトを対象にしています。

年度	点数表	(区分)	(被保険区分)	加入者数	受診者数	レセプト件数
23 年度	医科	入院外		14,480,250	12,546,694	83,040,665
			被保険者	7,501,165	6,186,375	37,685,670
			男性	5,398,141	4,262,011	25,782,431
			女性	2,103,024	1,924,364	11,903,239
			被扶養者	6,979,085	6,360,319	45,354,995
			女性	4,757,541	4,336,097	30,901,873
24 年度	医科	入院外		14,455,866	12,721,391	84,389,415
			被保険者	7,522,320	6,343,677	38,818,801
			男性	5,386,345	4,341,314	26,330,672
			女性	2,135,975	2,002,363	12,488,129
			被扶養者	6,933,546	6,377,714	45,570,614
			女性	4,716,343	4,341,929	31,095,348

【参考】ICD-10 分類の詳細

気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)

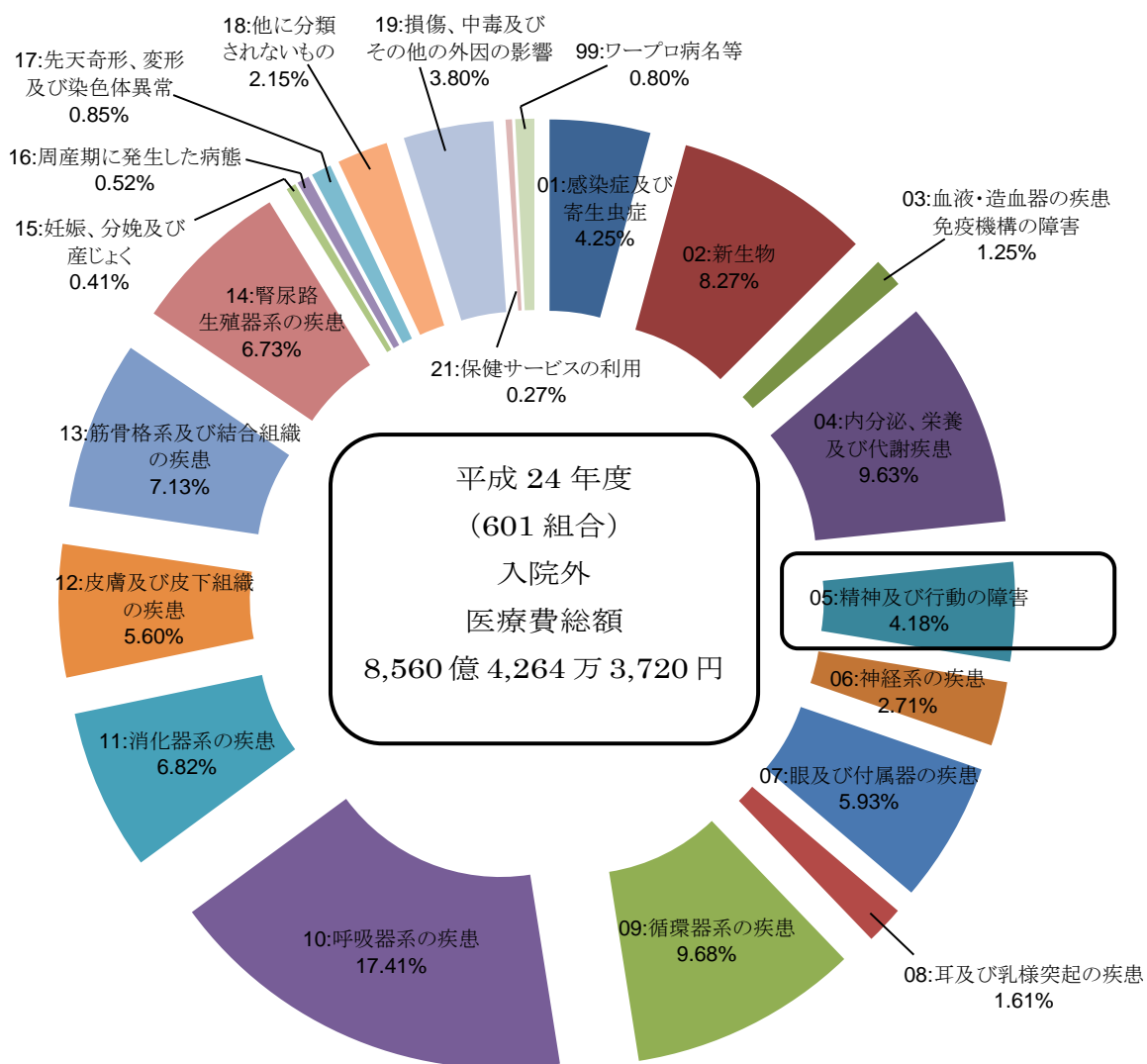
- ① 病エピソード、②双極性感情障害<躁うつ病>、③うつ病エピソード、④反復性うつ病性障害、⑤持続性気分 [感情] 障害、⑥その他の気分 [感情] 障害、⑦詳細不明の気分 [感情] 障害

神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

- ①恐怖症性不安障害、②その他の不安障害、③強迫性障害<強迫神経症>、④重度ストレスへの反応及び適応障害、⑤解離性 [転換性] 障害、⑥身体表現性障害、⑦その他の神経症性障害
-

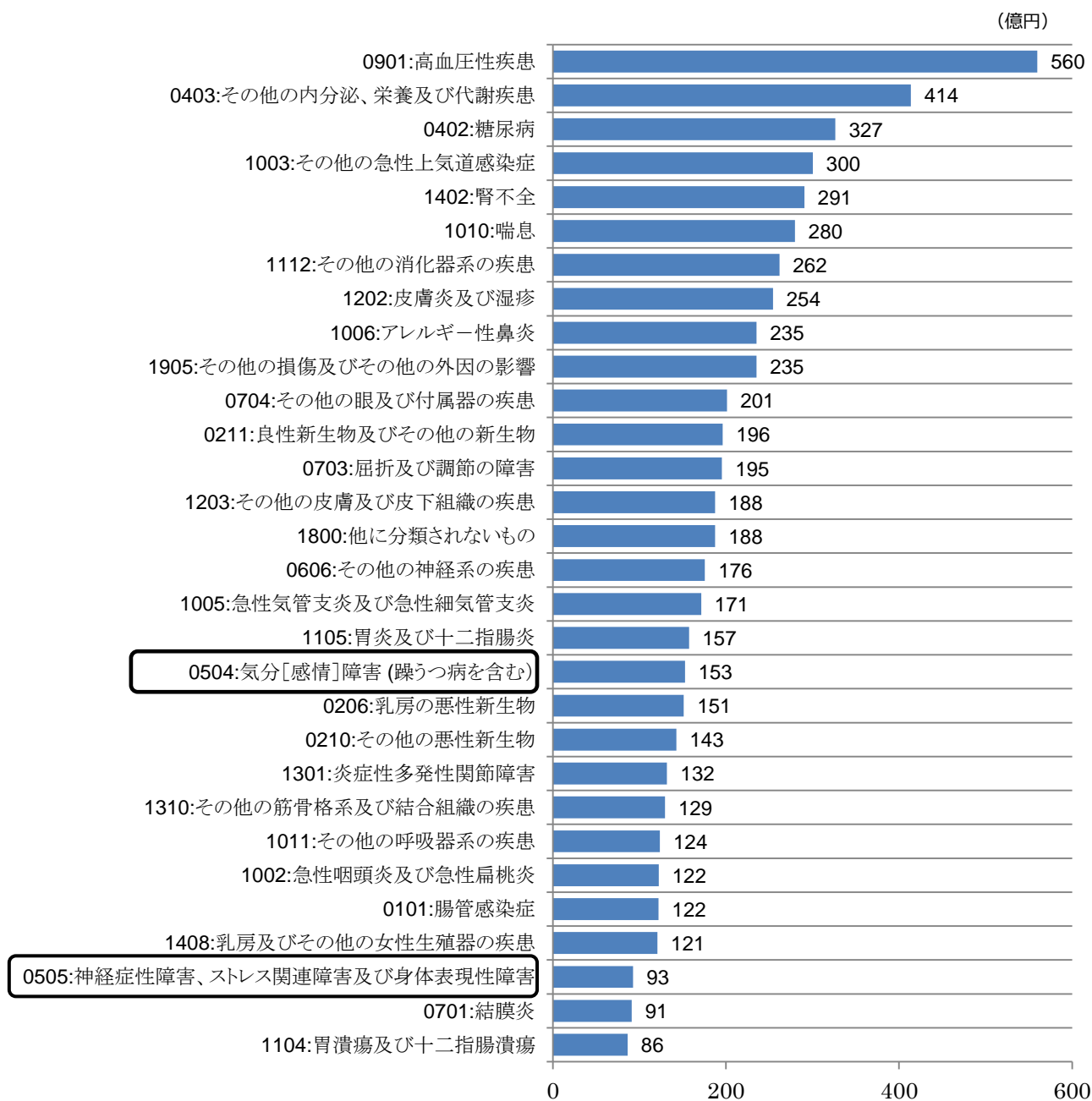
(1) 19 分類でみた「精神及び行動の障害」の割合

- 入院外の医療費（601 組合）について疾病 19 分類から、メンタルヘルスに関連のある「精神及び行動の障害」の医療費割合をみると、入院外医療費総額：約 8,560 億円のうち 4.18%（約 360 億円）となっている。



(2)119 分類でみたメンタルヘルス関連疾患の金額

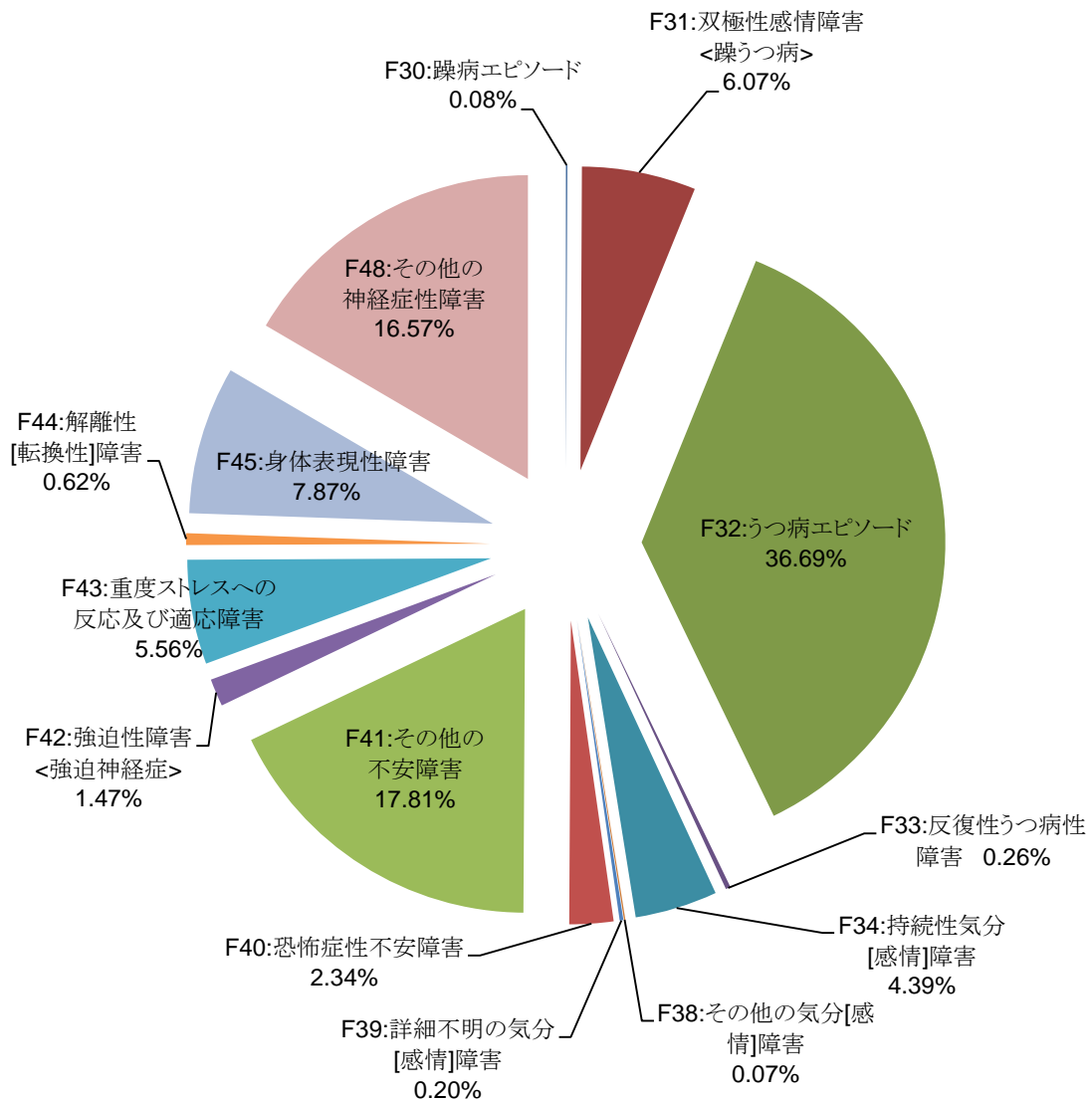
- 入院外の医療費について疾病 119 分類別に上位 30 疾患をとってみると、メンタルヘルスに関連のある、「気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)」が 19 位 : 153 億円、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」が 28 位 : 93 億円となっている。



(3)メンタルヘルス関連疾患(入院外・合計)の受診者割合

- 加入者総数 (601 組合) 1,445 万 5,866 人のうち、メンタルヘルスに関連する、▽「気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)」、▽「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」受診者の合計は、全体の 3.91% にあたる、56 万 5,297 人となっている。
- 疾患別の受診者割合をみると、①うつ病エピソード : 36.69%、②その他の不安障害 : 17.81%、③その他の神経症性障害 : 16.57%となっている。

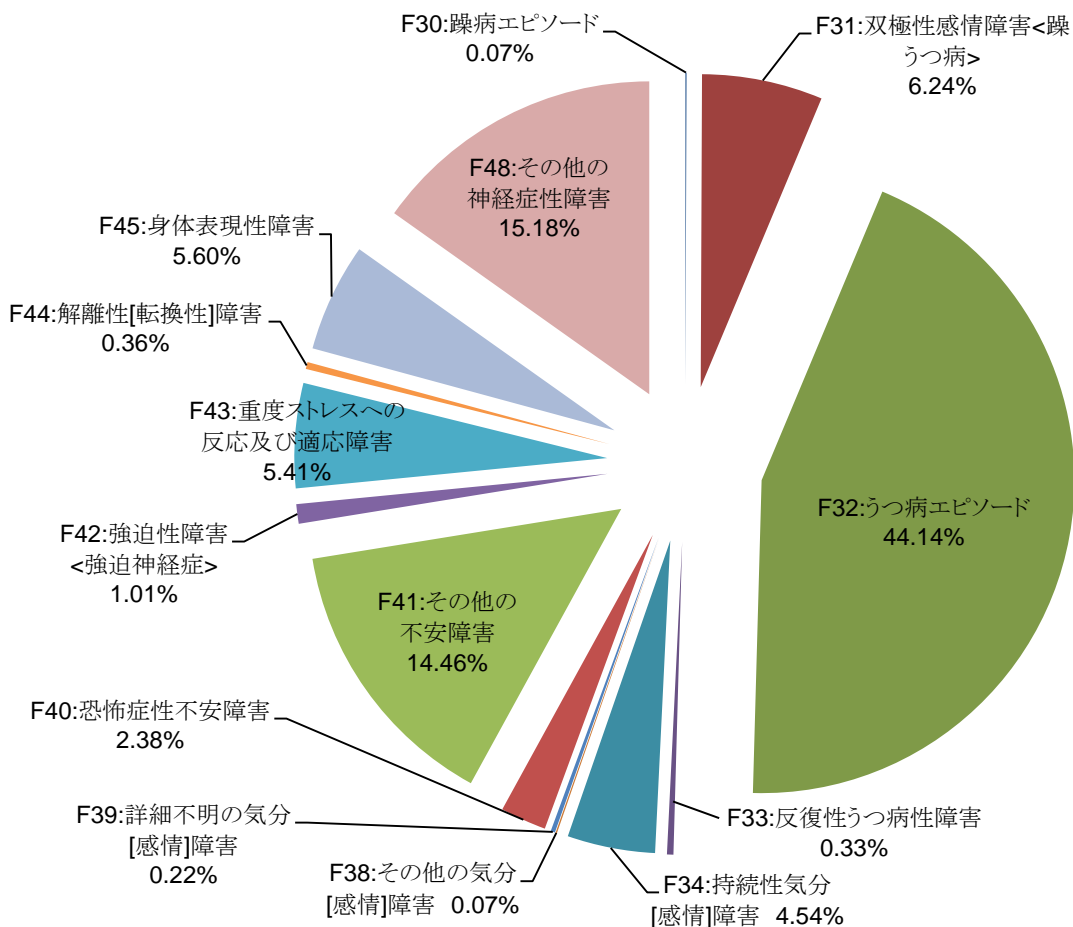
＜本人・家族合計受診者数 : 56 万 5,297 人＞



(4) 被保険者【男性】受診者の疾患別割合

- 被保険者・男性（23万5,421人）の疾患別割合をみると、①うつ病エピソード：44.14%が圧倒的に高く、次いで、②その他の神経症性障害：15.18%、③その他の不安障害：14.46%となっている。

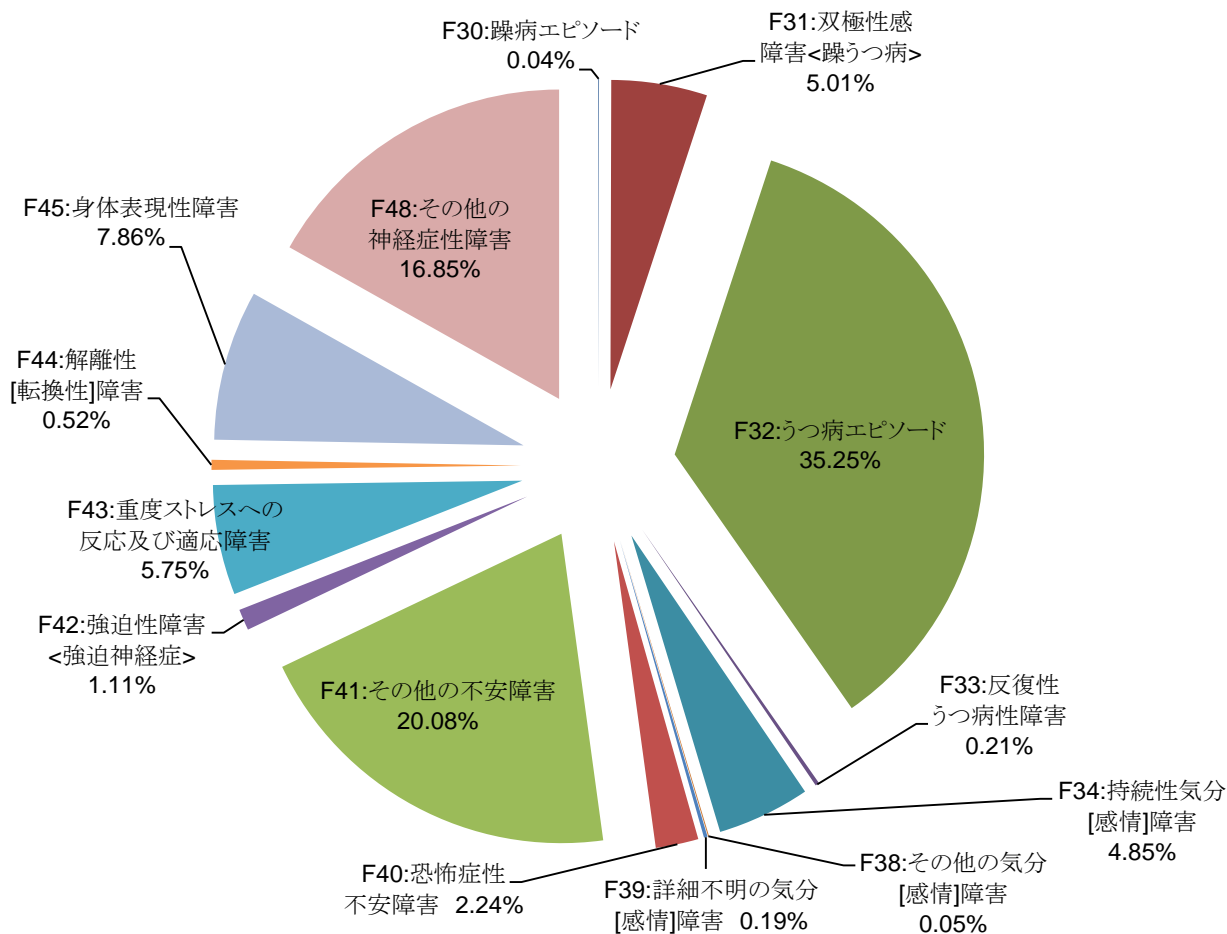
<被保険者【男性】受診者数：23万5,421人>



(5)被保険者【女性】受診者の疾患別割合

- 一方、被保険者・女性（10万9,027人）の疾患別受診割合をみると、①うつ病エピソード：35.25%と最も高いものの、男性に比べると低い割合になっており、②その他の不安障害：20.08%、③その他の神経症性障害：16.85%の割合が男性より高い傾向にある。

<被保険者【女性】受診者：10万9,027人>

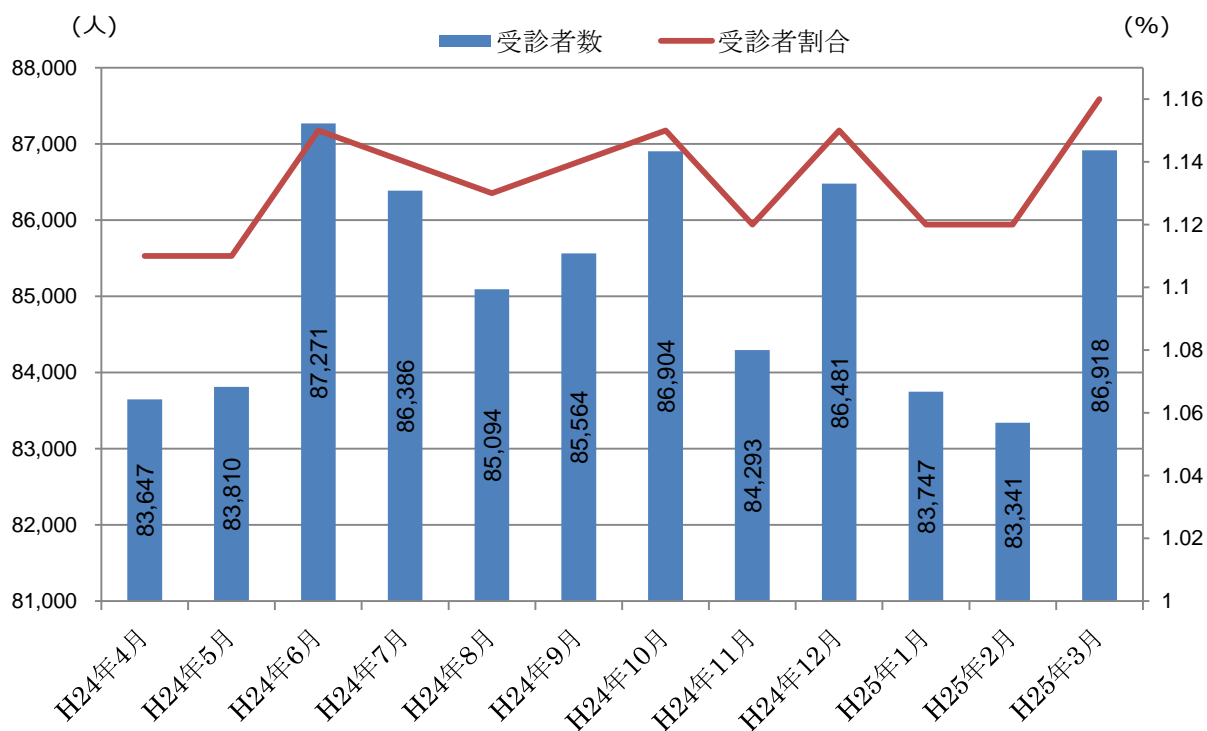


(6) 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)による受診者の動向

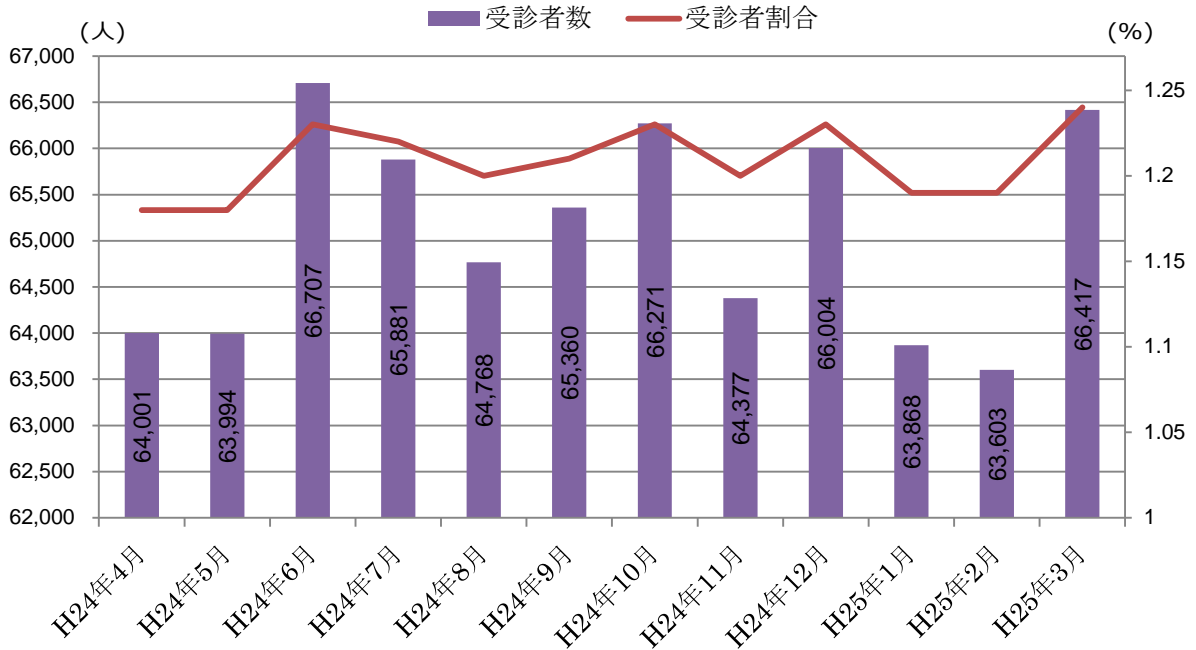
- 気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む) による被保険者の受診者数は、17万3,708人で、被保険者全体(752万2,320人)の2.31%となっている。
- 男女別に割合をみると、男性と女性との間で差異はほとんどない。
- 受診者数の月次推移では、6月、10月、12月、3月に増加する傾向が示されている。
- 男女別の月次推移(次頁)でも同様の傾向が示されている。

			加入者数	受診者数	割合
気分[感情]障害 (躁うつ病を含む)	被保険者	合計	7,522,320名	173,708名	2.31%
		男性	5,386,345名	125,865名	2.34%
		女性	2,135,975名	47,843名	2.24%

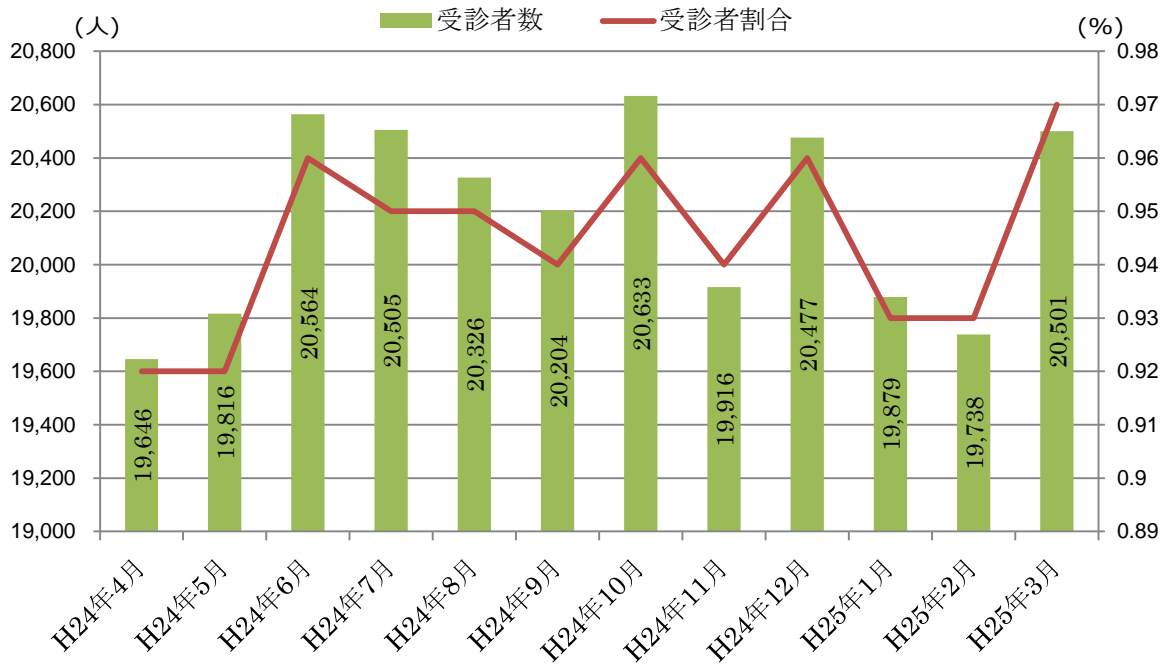
<受診者数(被保険者計)の月次推移>



<被保険者【男性】受診者>



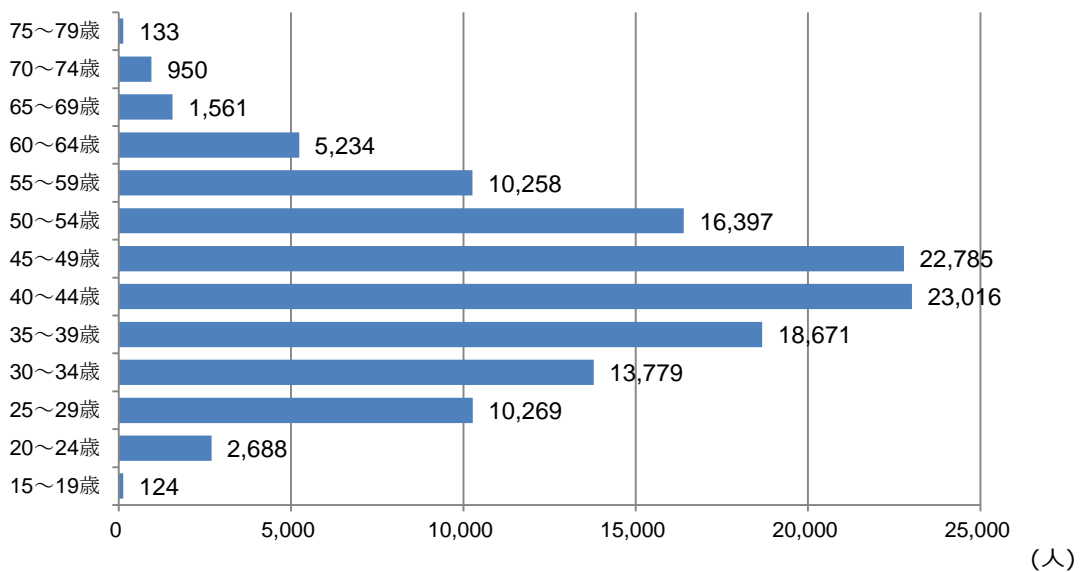
<被保険者【女性】受診者>



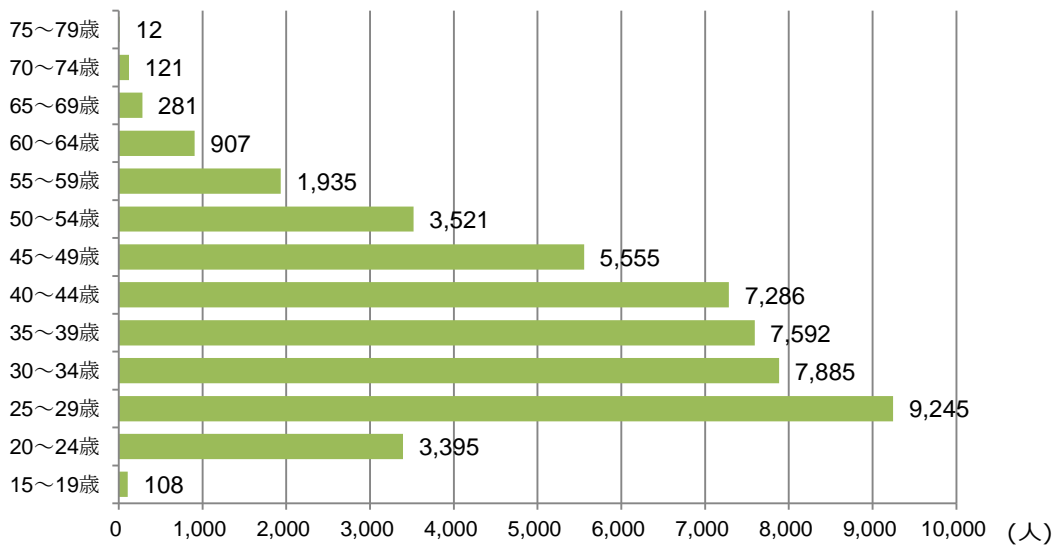
(7) 年齢階層別にみた気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の受診者数

- 年齢階層別に気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の受診者数をみると、男性では、①40-44歳、②45-49歳、③35-39歳の順で多い。
- 女性では、①25-29歳、②30-34歳、③35-39歳の順で多く、男性に比べ低い年齢で多い傾向が示されている。

<被保険者【男性】受診者>



<被保険者【女性】受診者>

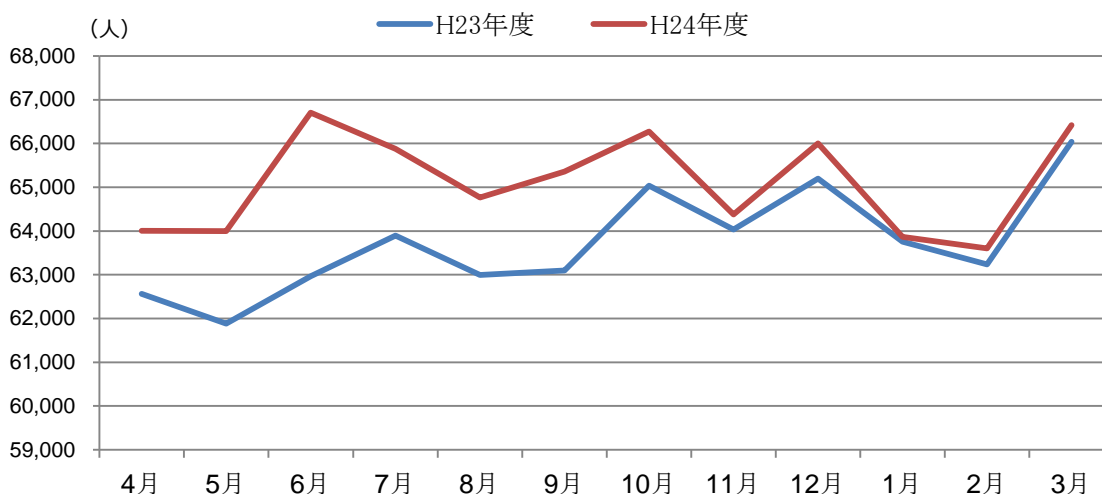


(8) 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)による受診者数の対前年度比

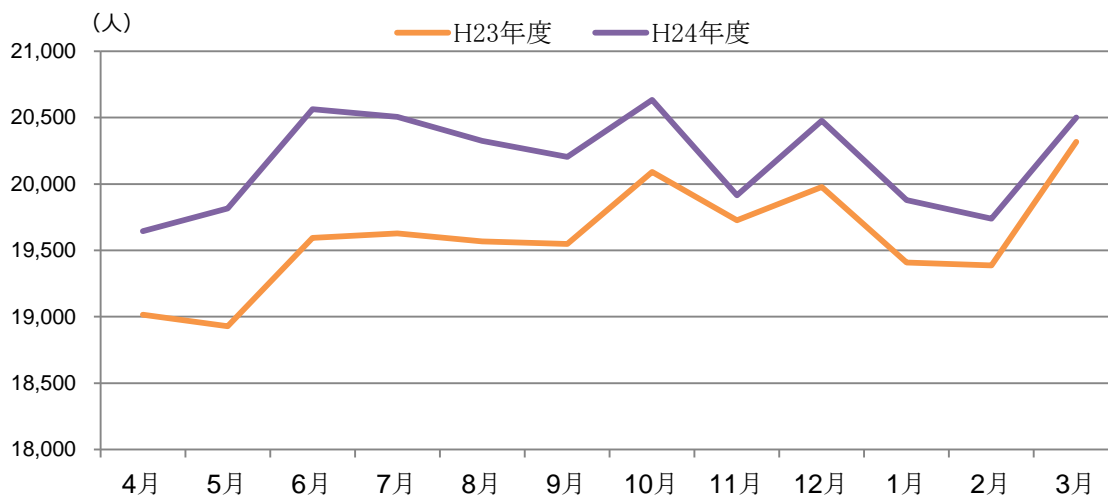
- 気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む) による被保険者の受診者数は、男性では 23 年度 : 12 万 2,901 人に対して、24 年度は 12 万 5,865 人で、受診率の伸びは 2.63%となっている。
- 一方、女性では 23 年度 : 4 万 6,568 人に対して、24 年度では 4 万 7,843 人で、受診率の伸びは 1.36%となっている。

受診者	H24 年度	H23 年度	受診率	H24 年度	H23 年度	伸び率
男性	125,865 名	122,901 名	男性	2.34	2.28	2.63%
女性	47,843 名	46,568 名	女性	2.24	2.21	1.36%

<被保険者【男性】受診者>

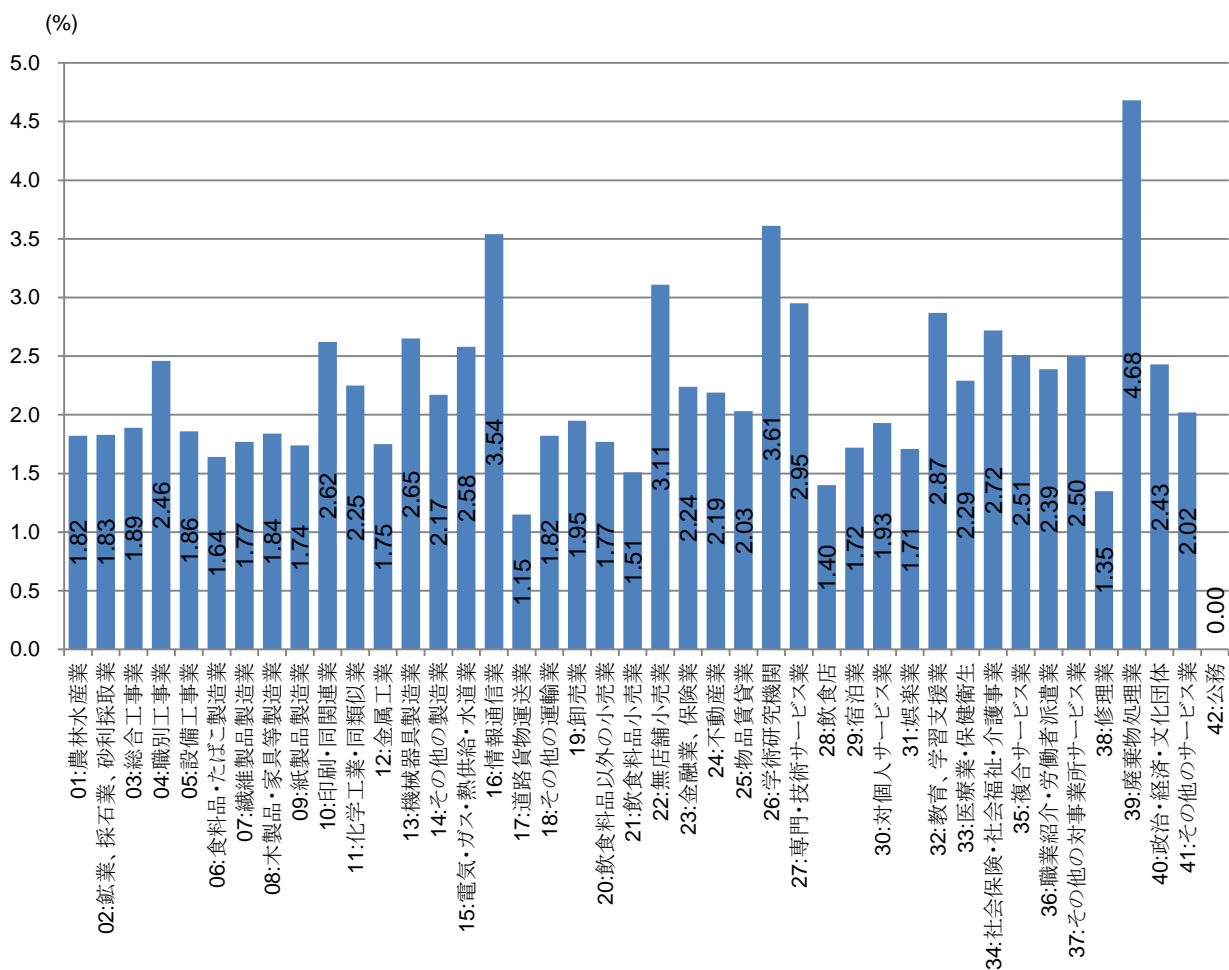


<被保険者【女性】受診者>



(9)業態別にみた気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の受診者割合

○ 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)による被保険者の受診割合について業態別にみると、最も高い割合を示しているのは、①廃棄物処理業：4.68%で、次いで、②学術研究機関：3.61%、③情報通信業：3.54%となっている。

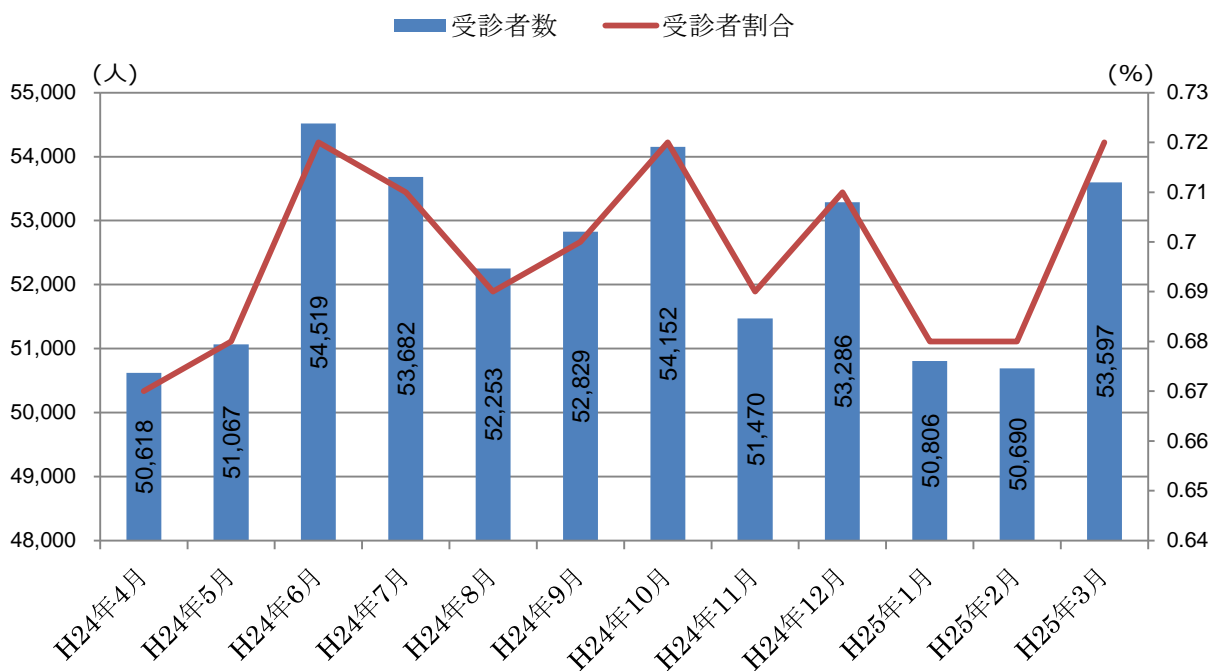


**(10) 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害による
受診者の動向**

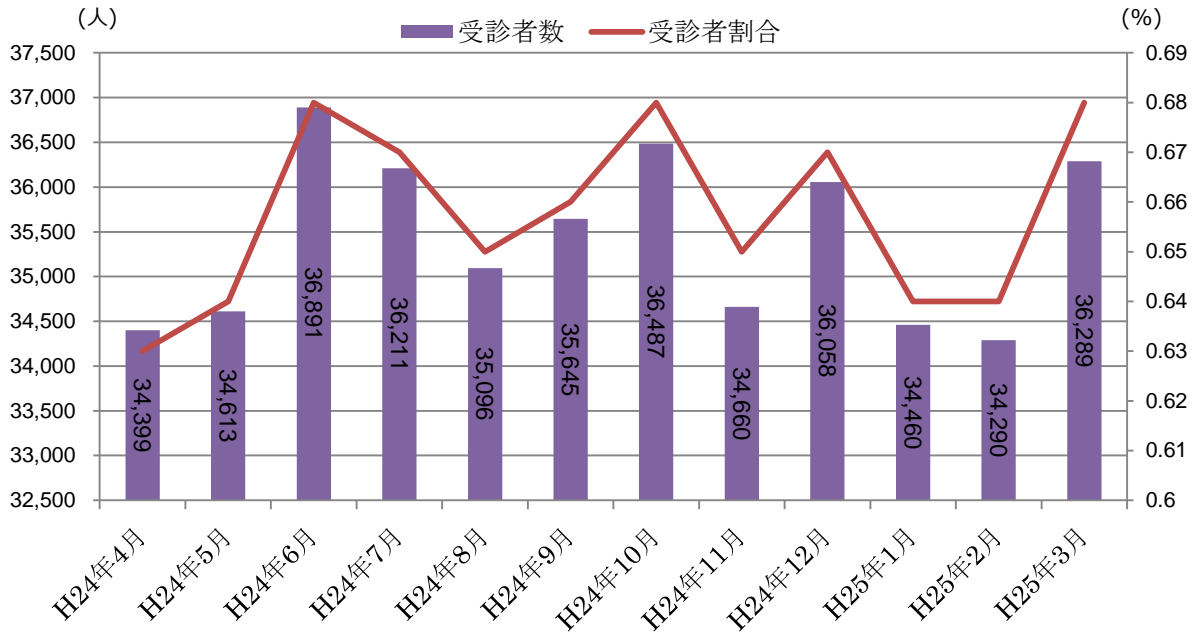
- 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害での被保険者の受診者数は 15 万 4,639 人で、被保険者全体（752 万 2,320 人）の 2.06% となっている。
- 男女別に割合をみると、男性：1.84%に対して、女性：2.61%と女性の割合が高い。
- 受診者の月次推移では、6 月、10 月、12 月、3 月に増加する傾向が示されている。

		加入者数	受診者数	割合	
神経症性障害、 ストレス関連障害及び 身体表現性障害	被保険者	合計	7,522,320 名	154,639 名	2.06%
		男性	5,386,345 名	98,920 名	1.84%
		女性	2,135,975 名	55,719 名	2.61%

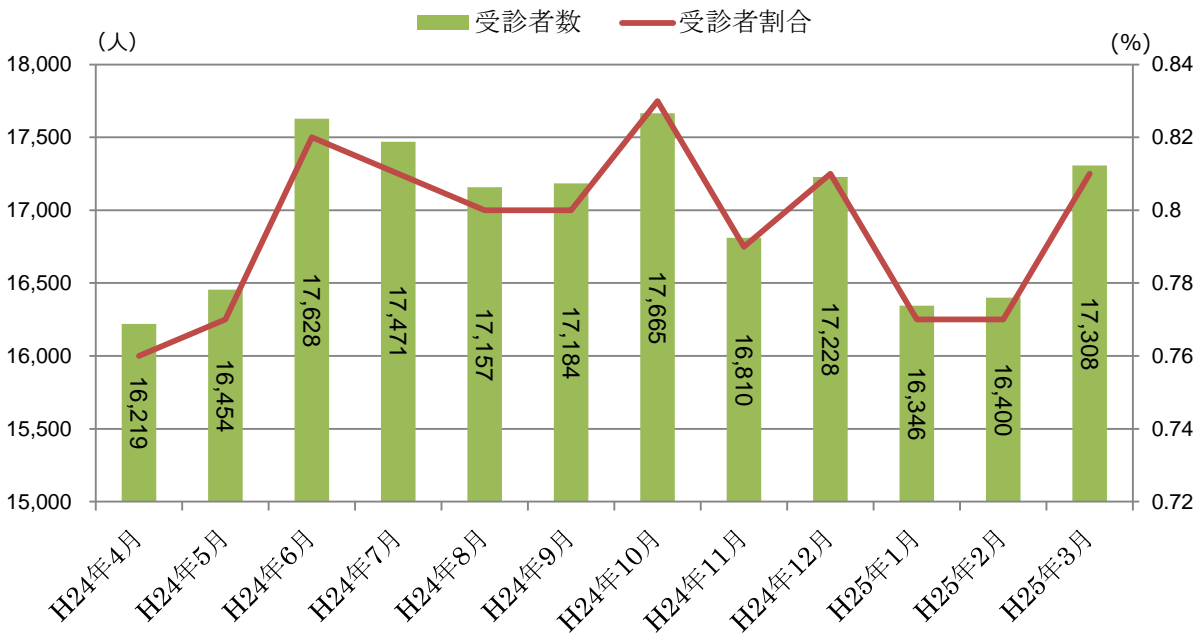
＜受診者数（被保険者計）の月次推移＞



<被保険者【男性】受診者>



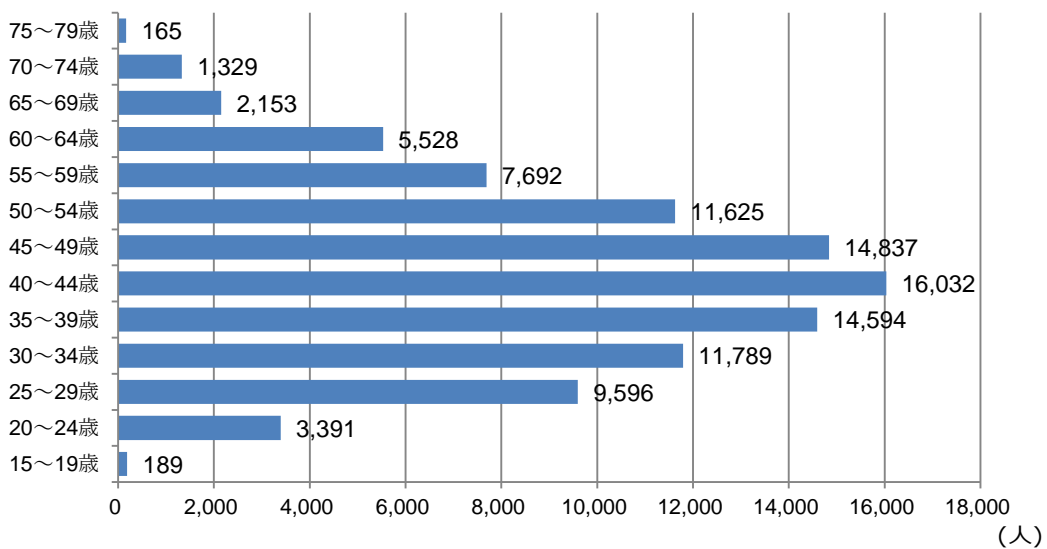
<被保険者【女性】受診者>



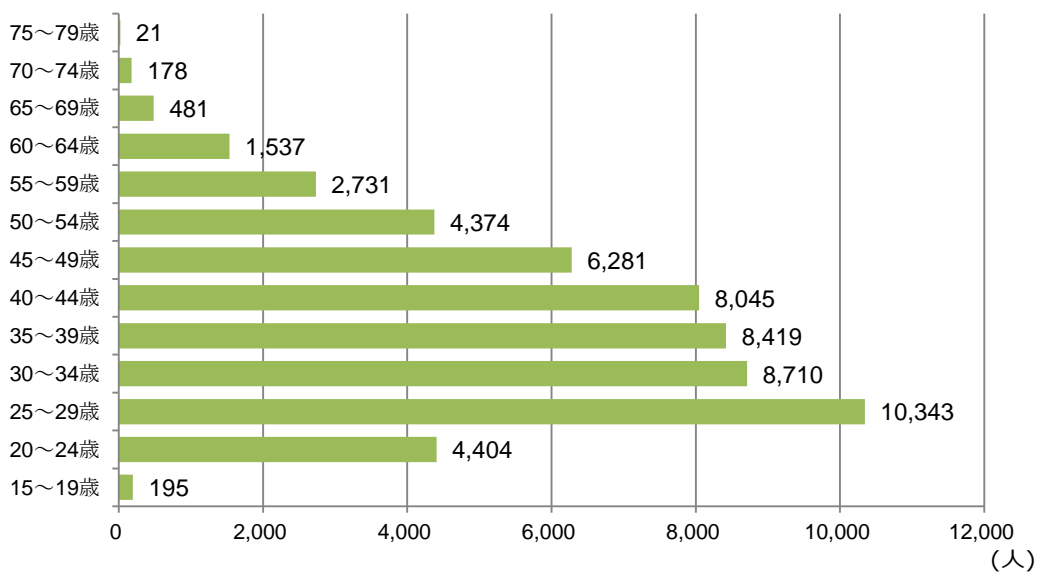
(11) 年齢階層別にみた神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害による受診者数

- 年齢階層別に神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害の受診者数をみると、男性では、①40-44歳、②45-49歳、③35-39歳の順に多い。
- 女性では、①25-29歳、②30-34歳、③35-39歳の順で多く、男性に比べ低い年齢で多い傾向が示されている。

＜被保険者【男性】受診者＞



＜被保険者【女性】受診者＞

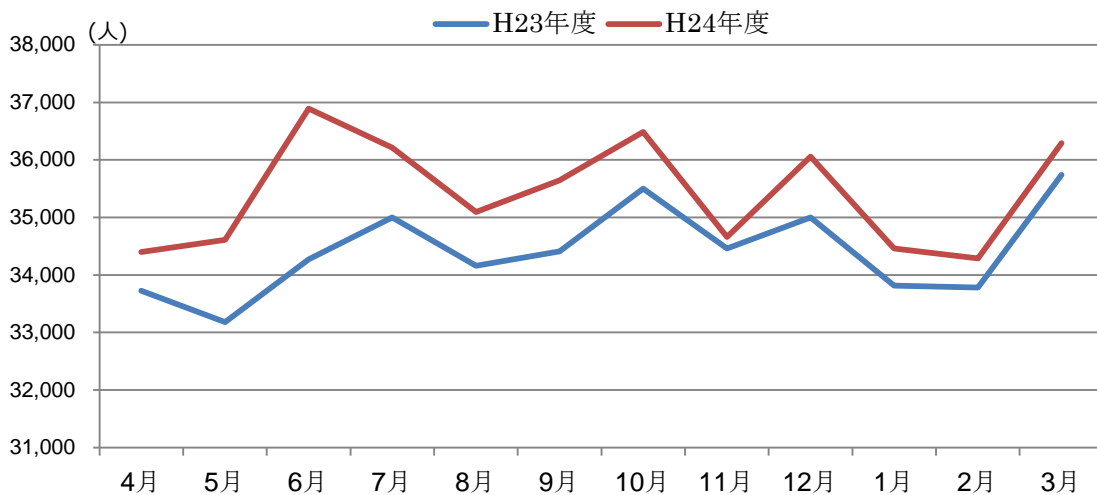


(12) 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害による受診者数の対前年度比

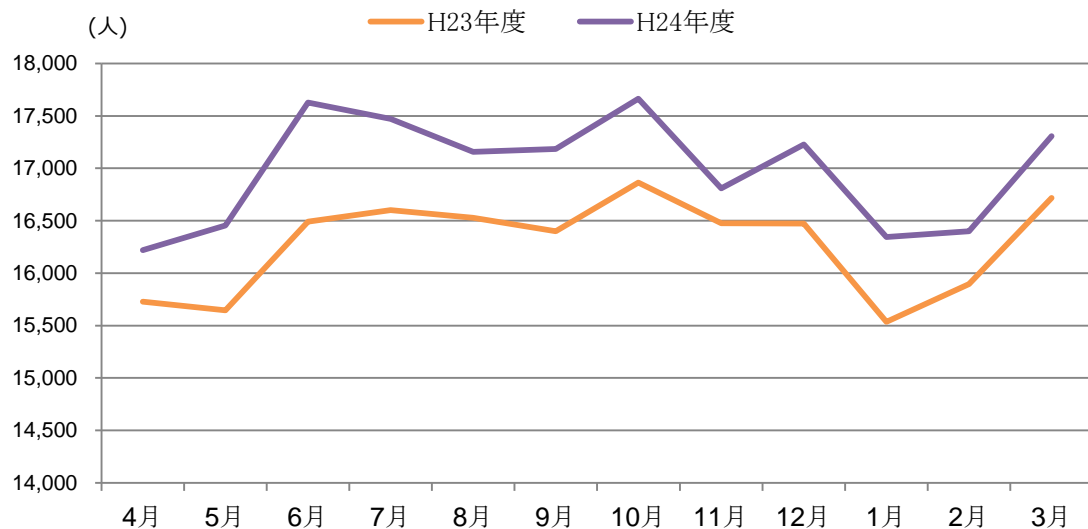
- 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害での被保険者の受診者総数は、男性では 23 年度：9 万 6,547 人に対して、24 年度：9 万 8,920 人で、受診率の伸びは 2.79%となっている。
- 一方、女性では 23 年度：5 万 4,265 人に対して、24 年度：5 万 5,719 万人で、受診率の伸びは 1.16%となっている。

	H24 年度	H23 年度	受診率	H24 年度	H23 年度	伸び率
男性	98,920 名	96,547 名	男性	1.84	1.79	2.79%
女性	55,719 名	54,265 名	女性	2.61	2.58	1.16%

<被保険者【男性】受診者>



<被保険者【女性】受診者>



(13) 業態別にみた神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 の受診者割合

- 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害による被保険者の受診者割合について業態別にみると、最も高い割合を示しているのは、①廃棄物処理業：3.03%で、次いで、②社会保険・社会福祉・介護事業：2.83%、③情報通信業：2.73%となっている。

